

女性被差別は実現可能か

宮崎 翔
永原 司

選んだ理由

- ▶ 授業を受けて男女差別について実現可能かと疑問に思ったから
- ▶ 男女差別について話が盛り上がったから
 - ▶ 興味がわいたから

現状



賃金格差

女性は男性の72～50%ほどの賃金しかもらえていない

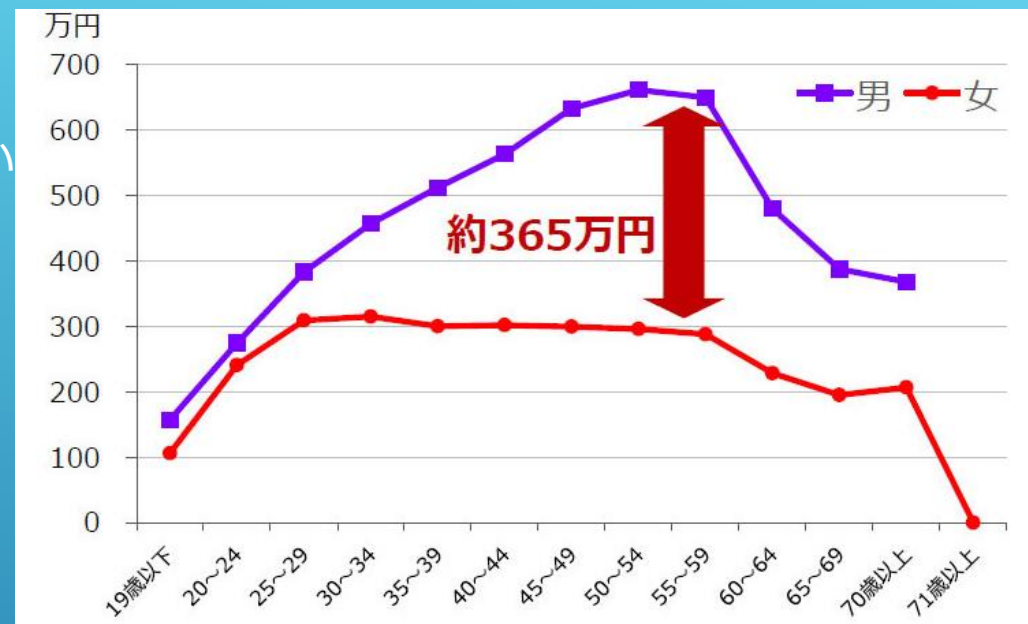
- 人身売買

臓器売買等の標的に狙われやすい

- 早期結婚

教育の機会が少なく家庭内暴力になることが多い

体が発達していない状態での出産のため合併症のリスクが高まる



要因

- ▶ 女性は教育、訓練期間が短い
- ▶ ライフイベントの影響を受けやすい
- ▶ そもそも、職業の分野が違う
- ▶ 男女での体格差



賃金格差



解決策

- ▶ 会社が女性について関心を持つ
- ▶ 法律を作る
- ▶ 個人の意識

▶ 男女関係なく仕事に対する成果で賃金を支払う

高校生である僕たちが思いつくことぐらい大人でも思いつくと思う。それでも差別がなくならないのは男女差別撤廃が難しいということだと思ったが、自分たちも小さなことから取り組んでいくことが大切だと思った。そして、男女差別は女性にだけ目を向けられがちだが男性にも差別があるため、視野を広く持って問題解決に取り組んでいくべきだと思った。話してみたらいろいろないけんが出てやりやすかったです。